

ビームチルトアンテナ

Beam tilting antenna

基地局のアンテナは、干渉を防ぐため、他のセルにできるだけ電波を放射しないようにする必要があります。ビームチルトアンテナは、主ビームが自局のセルの外縁部に向かい、サイドローブが他のセルに向かうように設計される。このようなビーム方向の制御は、水平方向に対しても行われる。



ここに展示されているオムニゾーン基地局用アンテナは、水平面内のビーム幅を反射板間の角度を変えることにより可変としている。また、一般的に基地局のアンテナは、建造物の屋上に設置されていることが多く、基地局の送受信装置と離れているため、受信した電波が同軸ケーブルを伝わる間に減衰してしまう。そこでアンテナ直下に屋外受信増幅器(写真中の2つの白い箱)を設置し、アンテナで受信した電波を増幅する構成としている。

基地局アンテナの役割

Role of base station's antenna

